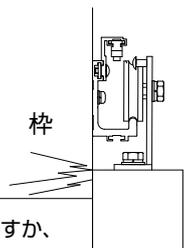


スライディングクローザ トラブルQ&A

Q. 扉が閉まり切らない。

A. 扉、ハンガー等が、上部カバー・戸袋に接触している。

処置：接触部を確認してハンガー、ガイドローラの取付け位置をずらすか、取付け直す。



A. ガイドローラが扉下部のローラ溝の上面に接触している。

処置：扉取付けを上部に修正する。レール等をずらす。



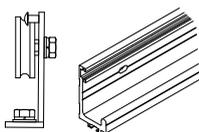
A. 扉が垂直に取付けられていない。

処置：ハンガーまたは、ガイドローラ的位置を取付け直す。



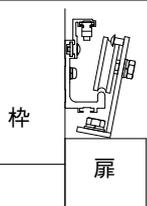
A. ハンガー戸車・レール走行面にキズ、汚れが付着している。

処置：ハンガー戸車、レールの清掃または、交換をする。



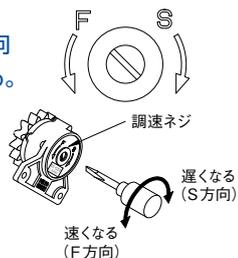
A. ハンガー戸車(前後)が、レールと平行に取付けられていない。

処置：平行になるように取付け直す。



A. 制動装置の调速ネジを遅い方向(表示S方向)に回し過ぎている。(制動力がかり過ぎ)

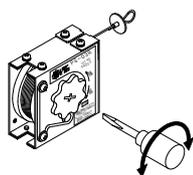
処置：调速ネジを反時計方向(表示F方向)に回し速度調整する。



A. 引込バネの調整がされていない。(水平式)

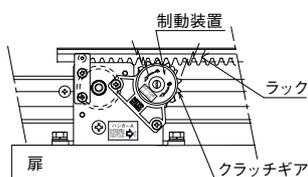


処置：引込バネの引込力を調整する。



A. 制動装置のクラッチギヤとレールの制動ラックとの噛み合わせが強い。

処置：ネジ部の遊び分を調整してください。



Q. 扉が閉まり切らない。もしくは閉扉動作が不安定。

A. 扉、枠間の気密ゴムもしくは、モヘア等が接触し閉扉抵抗となっている。

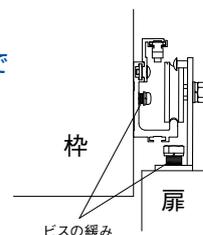
処置：接触を緩和させる。例) ゴムを切断する等



Q. 扉がガタつく

A. 各 부품の取付けビスが緩んでいないか確認する。

処置：取付けビスの増し締めもしくは締め直しをする。



事故防止のための注意事項

- 仕様外の扉寸法、扉質量へのご使用は避けてください。
- 本機器はブレーキが効かなくなると、扉が勢いよく閉まり、指をはさんだり、接触及び転倒事故の危険があります。万一油の漏れや部品の破損等により、速度調整をしてもブレーキが効かなくなった場合は、速やかに機器をお取り替えください。
- 装置の分解・改造をしないでください。万一された場合、以降の保証は致しかねます。
- 機器の取付ネジは確実に締め付けてください。機器の破損及び事故の原因となります。
- 戸外れ防止ネジは必ず取付けてください。扉が脱輪し転倒する危険があります。
- 扉の開きはゆっくりと行い、戸尻側には必ず戸当りを設置してください。機器の破損及び事故の原因となります。
- 部品を落としたり、叩いたりしないでください。故障の原因となります。
- クローザ機能により扉は自閉しますので、無理に扉を速く閉めないでください。扉が勢いよく閉まり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 子供が扉にぶら下がって遊ばないようにご注意ください。
- 開扉時、戸当りに強く当たる場合は、戸尻側および床等に別途戸当りを設けてください。

永くご使用して頂くための注意事項

- レール及び戸車に付着したゴミ等を拭き取ってください。
- ネジの緩み等異常がないか、定期的に点検を行ってください。

注) 図は主にC型を例として掲載しています。